

令和4年度

第1回足立区青少年問題協議会
協議・報告資料

《 目 次 》

1 協議

青少年の健全育成に理解を求める協力要望書について

(子ども家庭部 青少年課)

・・・ 1頁～6頁

2 報告

(1) 令和3年度「いじめ認知・解消状況」及び「令和4年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について

(教育指導部 教育指導課)

・・・ 7～12頁

(2) 令和3年度の不登校児童・生徒数について

(こども支援センターげんき 教育相談課)

・・・ 13～19頁

協議資料

件名	青少年の健全育成に理解を求める協力要望書について																									
所管部署	子ども家庭部青少年課																									
内容	<p>第七波のピークが過ぎ感染者数が落ち着くと共に、青少年の活動が活発になることが想定されるため、環境整備を推し進める必要がある。</p> <p>そこで、以下の業種に青少年の健全育成へのご理解ご協力を求めるため別紙の要望書を送付したい。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 60%;">業種</th> <th style="width: 15%;">店数</th> <th style="width: 25%;">送付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レンタルビデオ・DVD・CD店</td> <td>6店</td> <td>別紙1</td> </tr> <tr> <td>カラオケボックス・ルーム</td> <td>19店</td> <td rowspan="2">別紙2</td> </tr> <tr> <td>カラオケ喫茶</td> <td>10店</td> </tr> <tr> <td>インターネットカフェ</td> <td>8店</td> <td>別紙3</td> </tr> <tr> <td>書店</td> <td>14店</td> <td rowspan="2">別紙4</td> </tr> <tr> <td>古本</td> <td>6店</td> </tr> <tr> <td>コンビニエンスストア</td> <td>226店</td> <td>別紙5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>289店</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>iタウンページ参照（令和5年1月31日現在）</p>	業種	店数	送付資料	レンタルビデオ・DVD・CD店	6店	別紙1	カラオケボックス・ルーム	19店	別紙2	カラオケ喫茶	10店	インターネットカフェ	8店	別紙3	書店	14店	別紙4	古本	6店	コンビニエンスストア	226店	別紙5	合計	289店	
業種	店数	送付資料																								
レンタルビデオ・DVD・CD店	6店	別紙1																								
カラオケボックス・ルーム	19店	別紙2																								
カラオケ喫茶	10店																									
インターネットカフェ	8店	別紙3																								
書店	14店	別紙4																								
古本	6店																									
コンビニエンスストア	226店	別紙5																								
合計	289店																									
問題点・今後の方針	書面表決において承認多数であれば、要望書を各店舗宛に郵送する。																									

要 望 書 (案)

日頃より、貴店の営業に際しましては、青少年の健全育成にご協力をいただきありがとうございます。

昨今のビデオ等ソフトの中には、青少年に好ましくない内容のものが多く見受けられ、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」では、不健全図書類の販売に規制・罰則を強化するとともに、関係各位の自主規制を強く求めています。

貴店におかれましては、ビデオ等ソフトが青少年に与える影響を十分にご理解いただき、その取扱いにつきまして、特に下記にご理解ご協力お願い申し上げます。

記

- ① アダルトソフト・残虐ソフトを青少年の目に触れさせないよう陳列等についての十分な配慮
- ② 上記ビデオ等のレンタルにあたっては、十八歳未満の者に貸し出さないよう年齢確認の厳格化
- ③ 上記各項目についての、従業員全員に対する周知・徹底

令和5年 月 日

足立区青少年問題協議会

足立区青少年問題協議会構成組織 (順不同)

足立区議会
足立区町会・自治会連合会
足立区保護司会
人権擁護委員
足立区私立幼稚園協会
足立区立小学校長会
区内都立高等学校
足立区立小学校PTA連合会
足立区青少年委員会
足立区少年団体連合協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚防犯協会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
東京都足立児童相談所
東京鑑別所

足立区教育委員会
足立区民生・児童委員協議会
足立区更生保護女性会
足立区女性団体連合会
足立区民間保育園連合会
足立区立中学校長会
区内私立高等学校
足立区立中学校PTA連合会
足立区スポーツ推進委員会
足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚母の会
足立公共職業安定所
警視庁台東少年センター
足立区

要 望 書 (案)

日頃より、貴店の営業に際しましては、青少年の健全育成にご協力をいただきありがとうございます。

カラオケボックスは、低料金営業やサービス内容の充実などから誰もが利用できる店舗として地域に普及しています。

一方、施設の密室性や飲酒・喫煙を伴う利用等の観点からは、青少年の非行を誘発する恐れを常に抱えていると考えざるをえません。

また、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」では、深夜立入り制限施設の経営者に、入口の見やすいところに、青少年の立入り制限の掲示が義務付けられています。

貴店におかれましては、青少年に与える影響を十分にご理解いただき、その取扱いにつきまして、特に下記にご理解ご協力お願い申し上げます。

記

- ① 深夜営業時間に十八歳未満の者を入場させないよう年齢確認の厳格化
- ② 二十歳未満の者にアルコール類及び煙草を提供しないよう年齢確認の厳格化
- ③ 児童・生徒が利用する場合は保護者同伴の確認
- ④ 上記の各項目についての従業員全員に対する周知・徹底

令和5年 月 日

足立区青少年問題協議会

足立区青少年問題協議会構成組織 (順不同)

足立区議会
足立区町会・自治会連合会
足立区保護司会
人権擁護委員
足立区私立幼稚園協会
足立区立小学校長会
区内都立高等学校
足立区立小学校PTA連合会
足立区青少年委員会
足立区少年団体連合協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚防犯協会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
東京都足立児童相談所
東京鑑別所

足立区教育委員会
足立区民生・児童委員協議会
足立区更生保護女性会
足立区女性団体連合会
足立区民間保育園連合会
足立区立中学校長会
区内私立高等学校
足立区立中学校PTA連合会
足立区スポーツ推進委員会
足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚母の会
足立公共職業安定所
警視庁台東少年センター
足立区

要 望 書 (案)

日頃より、貴店の営業に際しましては、青少年の健全育成にご協力をいただきありがとうございます。

インターネットカフェは、低料金営業やサービス内容の充実などから誰もが利用できる店舗として地域に普及しています。

一方、施設の密室性や飲酒・喫煙を伴う利用等の観点からは、青少年の非行を誘発する恐れを常に抱えていると考えざるをえません。

また、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」では、深夜立入り制限施設の経営者に、入口の見やすいところに、青少年の立入り制限の掲示が義務付けられています。

貴店におかれましては、青少年に与える影響を十分にご理解いただき、その取扱いにつきまして、特に下記にご理解ご協力お願い申し上げます。

記

- ① 深夜営業時間に十八歳未満の者を入場させないよう年齢確認の厳格化
- ② 二十歳未満の者にアルコール類及び煙草を提供しないよう年齢確認の厳格化
- ③ 児童・生徒が利用する場合は保護者同伴の確認
- ④ 青少年が利用する場合は、フィルタリングサービスを導入した機器の使用に努める
- ⑤ 上記の各項目についての従業員全員に対する周知・徹底

令和5年 月 日

足立区青少年問題協議会

足立区青少年問題協議会構成組織（順不同）

足立区議会
足立区町会・自治会連合会
足立区保護司会
人権擁護委員
足立区私立幼稚園協会
足立区立小学校長会
区内都立高等学校
足立区立小学校PTA連合会
足立区青少年委員会
足立区少年団体連合協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚防犯協会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
東京都足立児童相談所
東京鑑別所

足立区教育委員会
足立区民生・児童委員協議会
足立区更生保護女性会
足立区女性団体連合会
足立区民間保育園連合会
足立区立中学校長会
区内私立高等学校
足立区立中学校PTA連合会
足立区スポーツ推進委員会
足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚母の会
足立公共職業安定所
警視庁台東少年センター
足立区

要 望 書 (案)

日頃より、貴店の営業に際しましては、青少年の健全育成にご協力をいただきありがとうございます。

成人向け雑誌・図書等につきましては「東京都青少年の健全な育成に関する条例」により不健全図書類の指定制度があり、規制対象として取り扱われております。

貴店におかれましては、これら不健全図書類が青少年に与える影響を十分にご理解いただき、その取り扱いにつきまして、特に下記にご理解ご協力お願い申し上げます。

記

- ① 梱包や区分陳列等に関する配慮
- ② 販売については、成人コーナーを設け、一般商品との混売の防止
- ③ 対面販売の励行及び十八歳未満の者への販売を行わないよう年齢確認の厳格化
- ④ 上記の各項目についての従業員全員に対する周知・徹底

令和5年 月 日

足立区青少年問題協議会

足立区青少年問題協議会構成組織 (順不同)

足立区議会	足立区教育委員会
足立区町会・自治会連合会	足立区民生・児童委員協議会
足立区保護司会	足立区更生保護女性会
人権擁護委員	足立区女性団体連合会
足立区私立幼稚園協会	足立区民間保育園連合会
足立区立小学校長会	足立区立中学校長会
区内都立高等学校	区内私立高等学校
足立区立小学校PTA連合会	足立区立中学校PTA連合会
足立区青少年委員会	足立区スポーツ推進委員会
足立区少年団体連合協議会	足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚防犯協会	千住・西新井・綾瀬・竹の塚母の会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署	足立公共職業安定所
東京都足立児童相談所	警視庁台東少年センター
東京鑑別所	足立区

要 望 書 (案)

日頃より、貴店の営業に際しましては、青少年の健全育成にご協力をいただきありがとうございます。

成人向け雑誌・図書等は「東京都青少年の健全な育成に関する条例」により不健全図書類として、規制対象として取り扱われております。

店におかれましては、不健全図書類が青少年に与える影響を十分にご理解いただき、その取り扱いにつきまして、特に下記にご理解ご協力お願い申し上げます。

記

- ① 梱包や区分陳列等に関する配慮
- ② 販売については、成人コーナーを設け、一般商品との混売の防止
- ③ 対面販売の励行及び十八歳未満の者への販売を行わないよう年齢確認の厳格化
- ④ 上記の各項目についての従業員全員に対する周知・徹底

令和5年 月 日

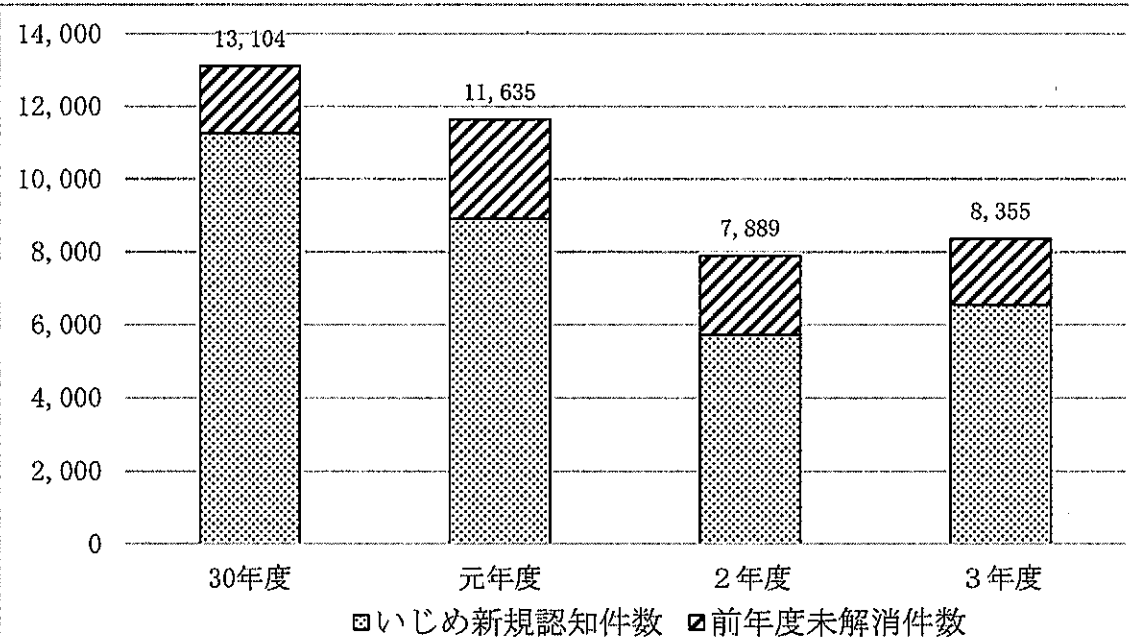
足立区青少年問題協議会

足立区青少年問題協議会構成組織 (順不同)

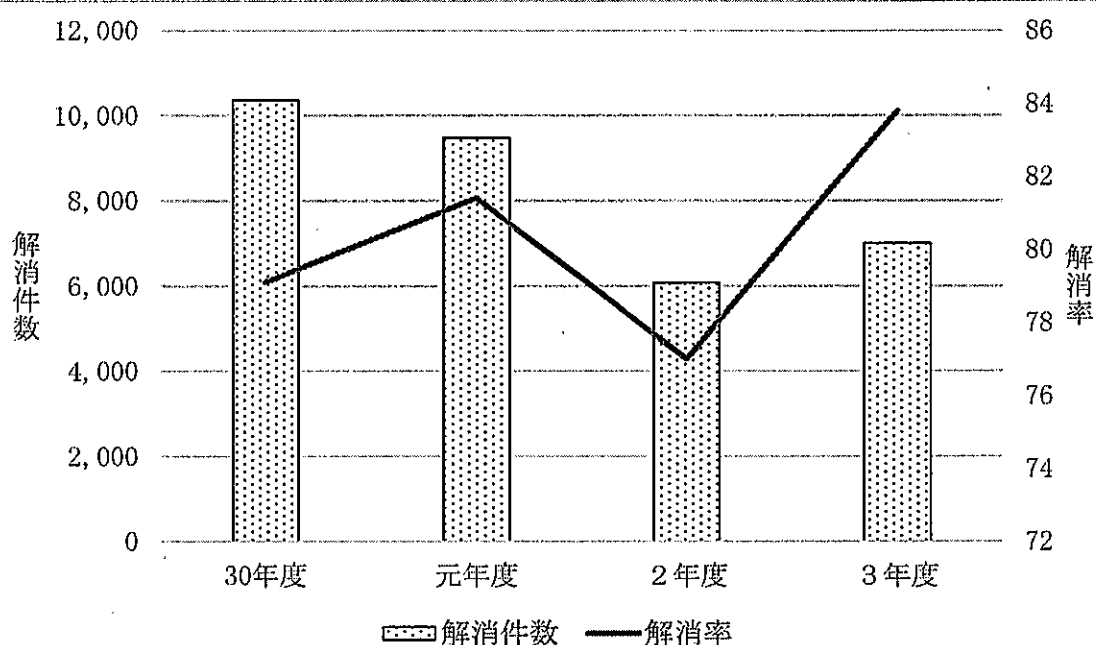
足立区議会
足立区町会・自治会連合会
足立区保護司会
人権擁護委員
足立区私立幼稚園協会
足立区立小学校長会
区内都立高等学校
足立区立小学校PTA連合会
足立区青少年委員会
足立区少年団体連合協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚防犯協会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
東京都足立児童相談所
東京鑑別所

足立区教育委員会
足立区民生・児童委員協議会
足立区更生保護女性会
足立区女性団体連合会
足立区民間保育園連合会
足立区立中学校長会
区内私立高等学校
足立区立中学校PTA連合会
足立区スポーツ推進委員会
足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚母の会
足立公共職業安定所
警視庁台東少年センター
足立区

報告資料

件名	令和3年度「いじめ認知・解消状況」及び「令和4年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について				
所管部署	教育指導部教育指導課				
内容	<p>令和3年度「いじめの認知・解消状況」及び「令和4年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」の結果について、下記のとおり報告する</p> <p>1 いじめの認知・解消状況（年度末時点）（p 1 1別紙参照）</p> <p>（1）いじめの認知状況</p>				
	 <p style="text-align: center;"> いじめ新規認知件数 前年度未解消件数 </p>				
	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度比
いじめ新規認知件数	11,261	8,898	5,729	6,543	+814
前年度未解消件数※	1,843	2,737	2,160	1,812	-348
いじめ合計件数	13,104	11,635	7,889	8,355	+466
	<p>※ 令和2年度から令和3年度への繰り越し</p> <p>※ 3か月間の経過観察中事案を含む</p>				

(2) いじめ解消状況



	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度比
解消件数※1	10,367	9,475	6,077	7,003	+926
解消率(%)※2	79.1	81.4	77.0	83.8	+6.8

※1 3か月間の経過観察事案を除く

※2 解消率＝解消件数÷(新規認知件数＋前年度未解消件数)×100

2 令和4年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査

(1) アンケート実施期間

令和4年6月1日～7月1日において各学校が定めた期間

(2) 対 象

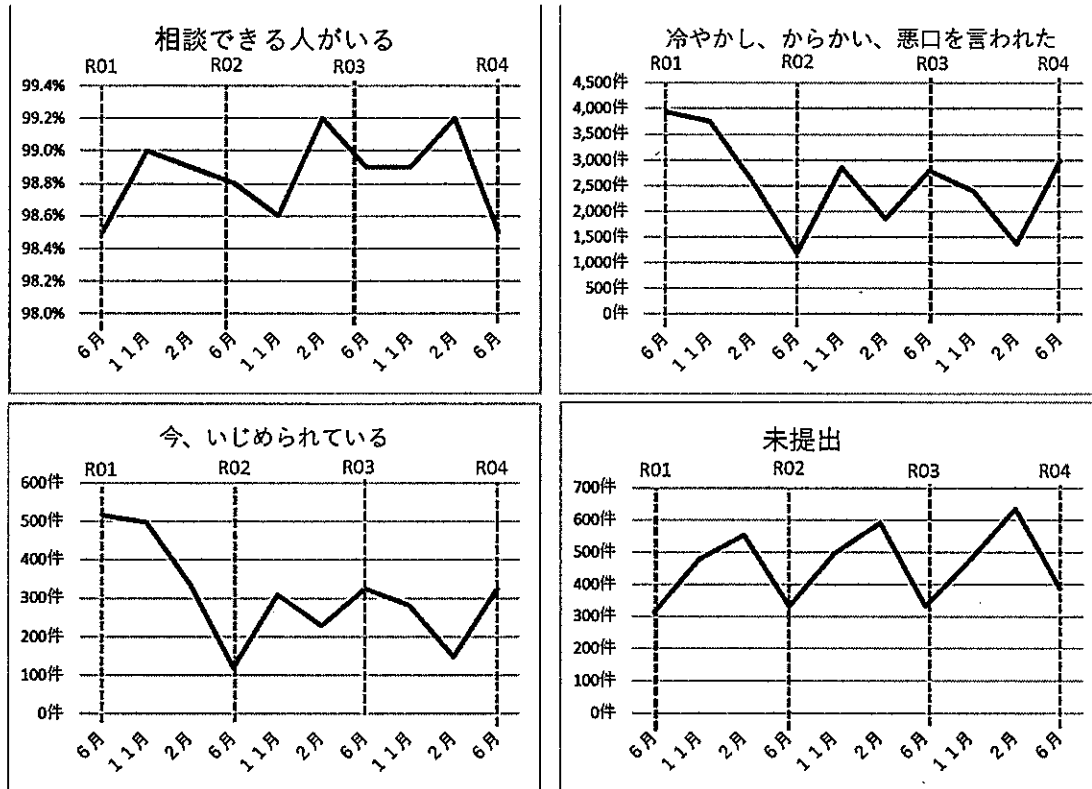
全区立小・中学校 全児童・生徒

調査回答数	小学校	30,052名
	中学校	13,441名
	計	43,493名

(3) アンケート実施方法

児童・生徒が家庭にアンケート用紙を持ち帰り記入した後、専用の封筒で学校に提出する。

(4) アンケート結果概要 (主要項目の経年比較)



アンケートの詳細は別紙参照

(5) アンケート結果の分析

ア 全体の傾向は1年前の調査と比較して、横ばいもしくは微増という結果である。

イ 「相談できる」が減少している。1.5%の児童・生徒が「相談できない」状況である。なお、学年別に割合を分析したところ、小学校第5学年と中学校第2学年に以下の課題があることが判明した。

(ア) 小学校第5学年では、「相談できる」と回答した割合が学校間でのばらつきが大きい。

(イ) 中学校第2学年では、「相談できる」と回答した割合が96.4%と他の学年と比較して最も低い。

(ウ) 小学校第5学年と中学校第2学年については、一般的に大人との信頼関係を築きにくい発達段階であることを、「いじめ等問題対策委員会」委員から助言を得ている。

ウ 相談先の「その他」が増加しており、具体的には「オンライン上の友人」「スマホ」等が増加している。

	<p>(6) 今後の対応</p> <p>ア 「相談できる人がいる」児童・生徒の減少</p> <p>(ア) 令和4年11月に実施するアンケートから、全ての学年で「相談できない理由」を聞き取る項目を追加した。</p> <p>(イ) 校内での相談先を児童・生徒に改めて周知することに加え、日常的な教員から児童・生徒への関わりや声掛けを増やしていく。</p> <p>イ メディアリテラシー (※) の向上</p> <p>全区立小中学校で毎年実施しているセーフティ教室等の機会を活用して、児童・生徒が正しくネット上の相談先を選択できるような力を育成させていく。</p> <p>※「メディアリテラシー」＝文字と共に映像や音声として送り出されてくる情報の意味するところを批判的に読み解く能力 (文部科学省ホームページより)</p>
<p>問題 点・ 今後 の方 針</p>	

別紙

令和4年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査結果 (R4. 8月)

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6
在籍数	30,628人	30,326人	30,198人	13,706人	13,736人	13,682人	44,334人	44,062人	43,880人
調査回答数	30,503人	30,050人	30,052人	13,499人	13,377人	13,441人	44,002人	43,427人	43,493人
回答率	99.6%	99.1%	99.5%	98.5%	97.4%	98.2%	99.3%	98.6%	99.1%
未回収数	125人	276人	146人	207人	359人	241人	332人	635人	387人
前回未回収数	230人	190人	276人	361人	287人	359人	591人	477人	635人

結果 (回答件数)

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	
相談できる人がいる	99.2%	99.6%	99.0%	98.0%	98.2%	97.5%	98.9%	99.2%	98.5%	
内訳										
家の人	92.3%	91.4%	91.5%	81.3%	81.1%	80.9%	88.9%	88.3%	88.2%	
※複数回答										
先生	64.1%	66.5%	65.5%	50.9%	53.2%	53.1%	60.1%	62.4%	61.7%	
友人	55.9%	61.5%	58.0%	78.2%	77.5%	77.5%	62.8%	66.4%	64.0%	
SC	11.9%	13.3%	12.1%	19.7%	19.0%	21.1%	14.3%	15.1%	14.9%	
その他	3.7%	3.0%	3.5%	2.1%	1.9%	3.8%	3.2%	2.7%	3.6%	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生 (学校、学童、習い事、大学、教育相談センター) ・知人・警察官・医師 ・親類・友人 (学校、習い事、オンライン上) ・ぬいぐるみ・シッター・人形 ・カウンセラー・ランドセル・コールセンター・児童相談所・動物・SNS ・学校関係者 (放課後キッズのスタッフ、送迎サポーター) ・ヤフー知恵袋 ・いじめ相談LINE・スマホ・ガキンチョ食堂 									
2	冷やかしの、からかい、悪口を言われた	2,598人	1,293人	2,790人	195人	73人	199人	2,793人	1,366人	2,989人
		8.5%	4.3%	9.3%	1.4%	0.5%	1.5%	6.3%	3.1%	6.9%
3	仲間はずれ、無視	1,069人	529人	1,074人	45人	20人	65人	1,114人	549人	1,139人
		3.5%	1.8%	3.6%	0.3%	0.2%	0.5%	2.5%	1.3%	2.6%
4	軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる	765人	351人	842人	86人	32人	78人	851人	383人	920人
		2.5%	1.2%	2.8%	0.6%	0.2%	0.6%	1.9%	0.9%	2.1%
5	ひどく叩かれる、蹴られる	515人	268人	560人	31人	9人	29人	546人	277人	589人
		1.7%	0.9%	1.9%	0.2%	0.1%	0.2%	1.2%	0.6%	1.4%
	お金を取られる、隠される	8人	11人	19人	0人	2人	1人	8人	13人	20人
		0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	0.0%	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満
6	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に遊び行くとき持って行った1,000円がなくなった。 ・友達と遊んでいる時、お財布から300円盗られた。 ・公園でカバンを隠された。 ・自転車をいたずらされたり、お金を取られたりした。 ・携帯ゲームの課金を勝手にされた。 									

調査項目	小学校			中学校			合計		
	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6
7 物をとられる、隠される	557人 1.8%	277人 0.9%	574人 1.9%	43人 0.3%	25人 0.2%	50人 0.4%	600人 1.4%	302人 0.7%	624人 1.4%
8 嫌なことをされる、させられる	347人 1.1%	183人 0.6%	391人 1.3%	29人 0.2%	6人 0.1%	49人 0.4%	376人 0.9%	189人 0.4%	440人 1.0%
9 パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ	59人 0.2%	29人 0.1%	69人 0.2%	26人 0.2%	10人 0.1%	41人 0.3%	85人 0.2%	39人 0.1%	110人 0.3%
10 他のことでいじめられた	160人 0.5%	84人 0.3%	187人 0.6%	9人 0.1%	5人 0.1%	6人 0.1%未満	169人 0.4%	89人 0.2%	193人 0.4%
	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題ができていないことを指摘される。・ものや体に触られる。 ・変なあだ名で呼ばれた。・つばをはきかけられた。・ズボンを脱がされた。 ・仲間外れのようにされたり、避けられたりした。・トイレをのぞかれた。 								
11 友達がいじめられているのを見た	1,684人 5.5%	809人 2.7%	1,708人 5.7%	78人 0.6%	23人 0.2%	79人 0.6%	1,762人 4.0%	832人 1.9%	1,787人 4.1%
12 今、いじめられている	298人 1.0%	130人 0.4%	289人 1.0%	27人 0.2%	17人 0.1%	36人 0.3%	325人 0.7%	147人 0.3%	325人 0.8%

未回収数の内訳

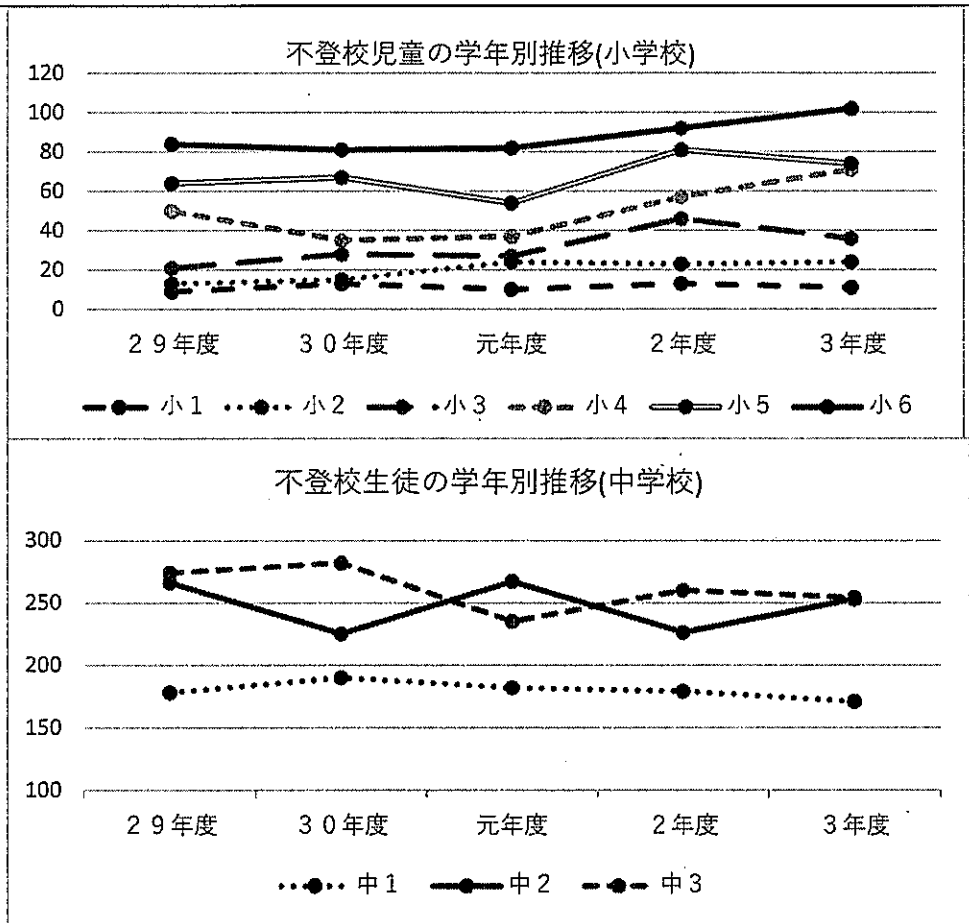
	小学校			中学校			合計		
	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6
全員回収	23	22	18	4	6	2	27	28	20
1名	19	11	18	5	2	7	24	13	25
2名	6	7	12	5	3	5	11	10	17
5名以内	16	13	14	7	7	6	23	20	20
10名以内	5	13	6	7	5	7	12	18	13
11名以上	0	3	0	7	12	8	7	15	8
合計	69	69	68	35	35	35	104	104	103

未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6	R3.6	R4.2	R4.6
学籍のみ	17	12	14	14	9	7	31	21	21
実施期間中に居住地以外に在住	10	2	4	2	0	2	12	2	6
児童相談所等との連携	3	3	12	2	6	10	5	9	22
不登校であり、回収に至らなかった	68	76	53	181	269	134	249	345	187
本人・保護者の判断	14	170	43	4	45	74	18	215	117
病気（入院中も含む）	7	9	11	3	27	9	10	36	20
日本語による説明が困難な状況	6	4	9	1	3	5	7	7	14
合計	125	276	146	207	359	241	332	635	387

報告資料

件名	令和3年度の不登校児童・生徒数及び支援について																																																																																																																											
所管部署	こども支援センターげんき教育相談課																																																																																																																											
内容	<p>1 令和3年度不登校児童・生徒数（累計30日以上欠席者）</p> <p>(1) 直近5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>241</td> <td>239</td> <td>234</td> <td>312</td> <td>318</td> <td>+6</td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(26)</td> <td>(14)</td> <td>(19)</td> <td>(20)</td> <td>(173)</td> <td>(153)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>718</td> <td>697</td> <td>684</td> <td>665</td> <td>678</td> <td>+13</td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(224)</td> <td>(215)</td> <td>(181)</td> <td>(239)</td> <td>(337)</td> <td>(98)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>959</td> <td>936</td> <td>918</td> <td>977</td> <td>996</td> <td>+19</td> </tr> <tr> <td>出席扱い計</td> <td>(250)</td> <td>(229)</td> <td>(200)</td> <td>(259)</td> <td>(510)</td> <td>(251)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 出席扱い…学校の指導要録上、出席としている者の人数。（チャレンジ学級等の学校以外の教育の場やICTを活用した学習が該当）</p> <p>不登校児童・生徒数の5年間の推移</p> <table border="1"> <caption>不登校児童・生徒数の5年間の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>241</td> <td>718</td> <td>959</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>239</td> <td>697</td> <td>936</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>234</td> <td>684</td> <td>918</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>312</td> <td>665</td> <td>977</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>318</td> <td>678</td> <td>996</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 学年別不登校児童・生徒数及び推移</p> <p>■前年度からの不登校者 □新規不登校者 ■チャレンジ・あすテップ通級者 (新規・継続の区別なし)</p> <table border="1"> <caption>学年別不登校児童・生徒数及び推移</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>前年度からの不登校者</th> <th>新規不登校者</th> <th>チャレンジ・あすテップ通級者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小1</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>小2</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>小3</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>小4</td> <td>42</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>0</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>小6</td> <td>52</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>114</td> <td>57</td> <td>0</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>108</td> <td>145</td> <td>0</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>73</td> <td>181</td> <td>0</td> <td>254</td> </tr> </tbody> </table>		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年比	小学校	241	239	234	312	318	+6	出席扱い	(26)	(14)	(19)	(20)	(173)	(153)	中学校	718	697	684	665	678	+13	出席扱い	(224)	(215)	(181)	(239)	(337)	(98)	合計	959	936	918	977	996	+19	出席扱い計	(250)	(229)	(200)	(259)	(510)	(251)	年度	小学校	中学校	合計	29年度	241	718	959	30年度	239	697	936	元年度	234	684	918	2年度	312	665	977	3年度	318	678	996	学年	前年度からの不登校者	新規不登校者	チャレンジ・あすテップ通級者	合計	小1	11	0	0	11	小2	18	6	0	24	小3	23	13	0	36	小4	42	29	0	71	小5	37	37	0	74	小6	52	50	0	102	中1	114	57	0	171	中2	108	145	0	253	中3	73	181	0	254
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年比																																																																																																																					
小学校	241	239	234	312	318	+6																																																																																																																						
出席扱い	(26)	(14)	(19)	(20)	(173)	(153)																																																																																																																						
中学校	718	697	684	665	678	+13																																																																																																																						
出席扱い	(224)	(215)	(181)	(239)	(337)	(98)																																																																																																																						
合計	959	936	918	977	996	+19																																																																																																																						
出席扱い計	(250)	(229)	(200)	(259)	(510)	(251)																																																																																																																						
年度	小学校	中学校	合計																																																																																																																									
29年度	241	718	959																																																																																																																									
30年度	239	697	936																																																																																																																									
元年度	234	684	918																																																																																																																									
2年度	312	665	977																																																																																																																									
3年度	318	678	996																																																																																																																									
学年	前年度からの不登校者	新規不登校者	チャレンジ・あすテップ通級者	合計																																																																																																																								
小1	11	0	0	11																																																																																																																								
小2	18	6	0	24																																																																																																																								
小3	23	13	0	36																																																																																																																								
小4	42	29	0	71																																																																																																																								
小5	37	37	0	74																																																																																																																								
小6	52	50	0	102																																																																																																																								
中1	114	57	0	171																																																																																																																								
中2	108	145	0	253																																																																																																																								
中3	73	181	0	254																																																																																																																								



(3) 令和3年度の傾向

ア 不登校児童・生徒は19人増加したが、出席扱いとした児童・生徒は251人増加

イ 不登校児童・生徒の半数以上が様々な支援を活用し学習に取り組んだことを、適切な支援を受けていると校長が評価したため、指導要録上、出席扱いとした。

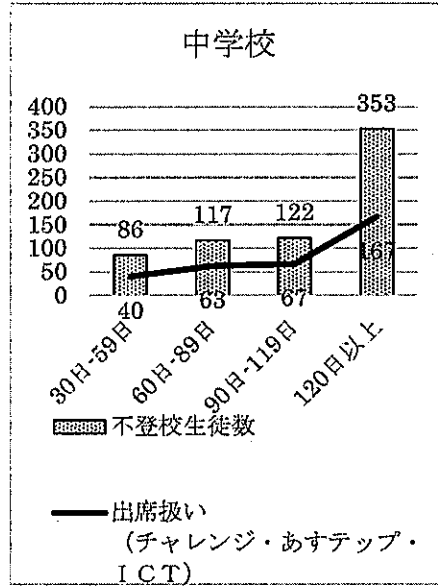
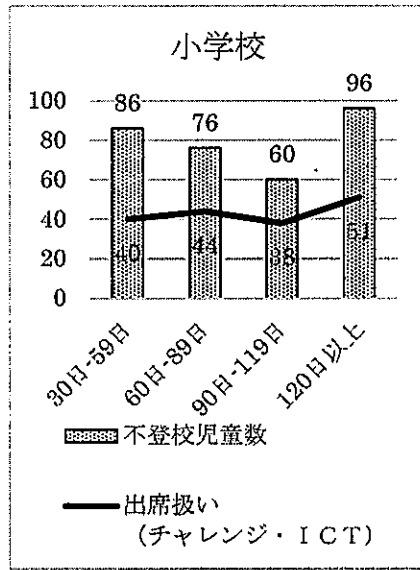
※ 「不登校児童生徒への支援の在り方について」(文部科学省 令和元年10月25日付)により、学校外において適切な学習活動を行ったと評価できる場合、学校長は指導要録上出席扱いとすることが認められている。

ウ 小学校においては、不登校児童に占める出席扱いの比率は、2年度の6%から54%と大きく増加。これは新型コロナウイルス感染症拡大に伴うオンライン授業配信等で学校とつながり、出席扱いとした児童が増えたため。

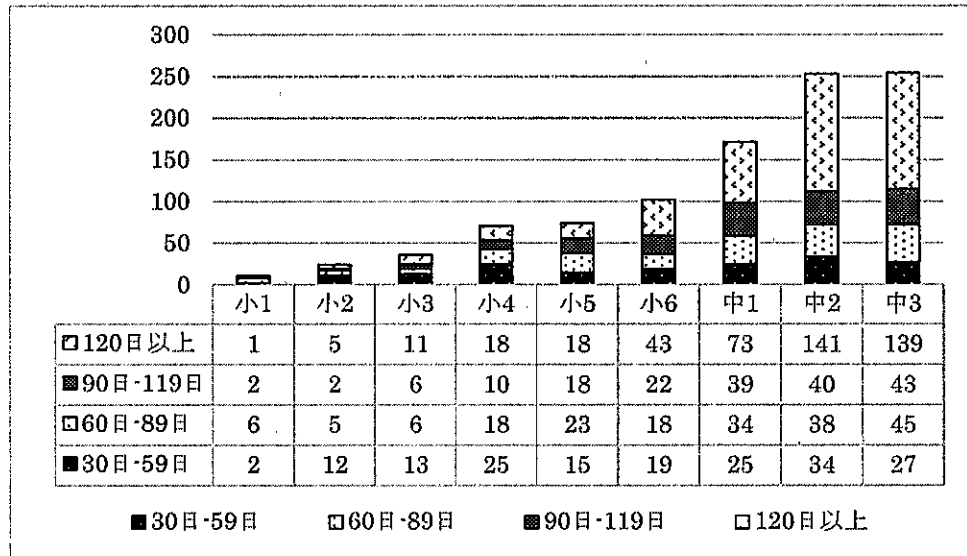
(4) 学年別前年度比較

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計
2年度	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665
3年度	11	24	36	71	74	102	318	171	253	254	678
前年比	-2	+1	-10	+14	-7	+10	+6	-8	+27	-6	+13

(5) 欠席日数別不登校児童・生徒人数及び出席扱い人数



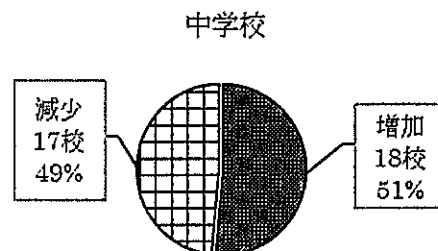
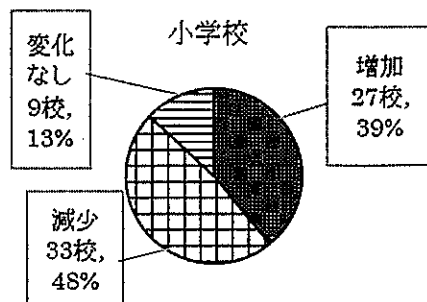
(6) 欠席日数別不登校児童・生徒の学年別人数内訳



2 学校種別の増減と主な要因

(1) 学校種別の増減

	増加 (校数)	減少 (校数)	変化なし
小学校	27校 (90人)	33校 (▲84人)	9校
中学校	18校 (97人)	17校 (▲84人)	—
合計	45校 (187人)	50校 (▲168人)	9校



(2) 学校種別の主な増減要因 ※いずれも前年度との比較

		主な増減要因
増加	小学校	ア 保護者が精神的に不安定になり、登校できない児童が増えたため。 イ これまで不登校傾向だった児童も、コロナ不安を理由に登校しないケースが増えたため。
	中学校	ア 新型コロナウイルスの感染を恐れて家でゲーム中心の生活になり、生活リズムが崩れる生徒が増えたため。 イ 保護者の精神的不安定や、兄弟の不登校で、一緒に引きこもるケースが散見されたため。
減少	小学校	ア 保護者とオンライン相談を行い、繋がりを保てたため。 イ オンライン授業を行い、学習支援を行ったため。
	中学校	ア 別室登校の日数を徐々に増やし、遅刻しながらも登校ができるようになってきたため。 イ チャレンジ学級へ体験通級し、穏やかに過ごせるようになった。表情もよくなってきたため。

3 主な不登校の要因 (上位5項目) ※カッコ内は割合

	小学校	中学校
1	無気力・不安 (48%)	無気力・不安 (59%)
2	親子の関係 (18%)	生活リズムの乱れ・遊び・非行 (13%)
3	生活リズムの乱れ・遊び・非行 (14%)	親子の関係 (7%)
4	授業が分からない (5%)	授業が分からない (4%)
5	友人関係の悪化 (3%)	友人関係の悪化 (4%)

4 不登校児童・生徒への今後の支援

(1) 不登校児童(小学生)への支援

小学生は、学校とのつながりを保つことが、不登校を長期化させないために不可欠であることから、引き続き、一人1台配布したタブレット端末を活用し、登校しぶりの状態の児童や長期欠席となっている児童も授業配信や個別課題の提示など、個に応じたきめ細かな対応をしていく。

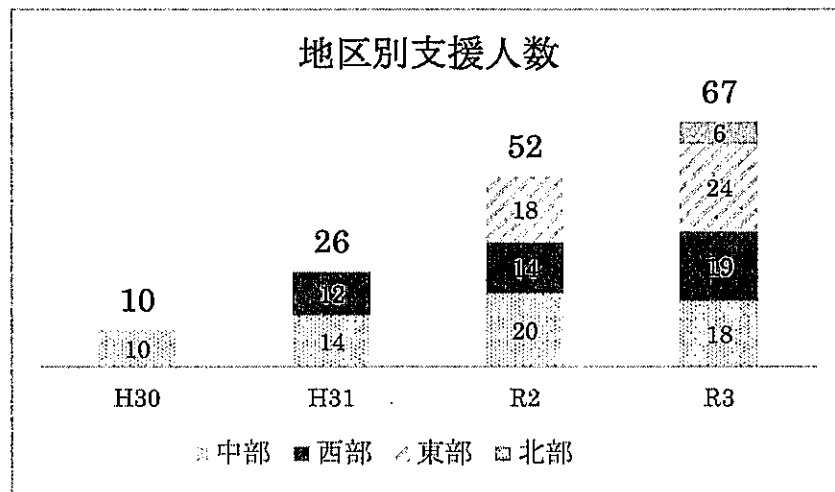
(2) 不登校生徒（中学生）への支援

ア 新しい学習環境や教科担任制への変化、専門的な学習になる中学校第1学年から新たに長期欠席となる生徒の割合が多いことから、不登校重点支援校と連携しながらICTを活用した効果的な支援や長期欠席の未然防止策について充実させる。

イ チャレンジ学級・あすテップでは、教室間相互で時間割に組み込んで授業のオンライン配信を実施しているほか、進路指導の授業動画を作成し希望した生徒が視聴する等動画運用を試行実施している。今後は、個人情報の取り扱いを調整した上で、通級生が自宅からでも受講できるようにし、学習の機会を増やしていく。

5 NPOと連携した居場所を兼ねた学習支援（不登校支援）の状況

(1) 支援人数



(2) 支援結果（中学3年生は進路等）

	支援結果	人数	内容等
中学3年生	高校進学	20名	チャレンジスクール、通信制学校等
	その他	4名	就職、家事手伝い、夜間中学進学、区外転出
小学5年生 ～ 中学2年生	居場所支援等 が定着	28名	学校復帰、チャレンジ学級に通級又は居場所支援の継続
	継続通級困難	15名	教育相談、SSW等の個別支援

6 家庭学習支援事業の状況

令和3年度より、長期不登校児童等へのアウトリーチ支援として、家庭への講師派遣による個別指導、ICTを活用した学習支援など多様な学習機会を提供している。この取り組みを通じ、基礎的な学力や学習意欲の向上を図る。

(1) 支援対象

長期欠席状態（欠席日数120日程度）にあり、外出が困難な児童等。

(2) 支援人数 25人

小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計
0	1	0	5	6	9	21	1	2	1	4

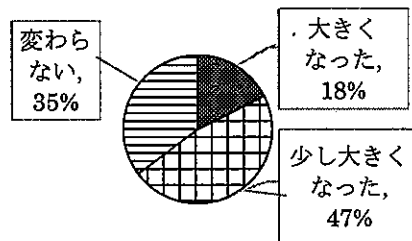
(3) 支援結果（改善状況）

学校復帰した児童5人、放課後登校した児童1人、居場所支援に繋がった児童1人。

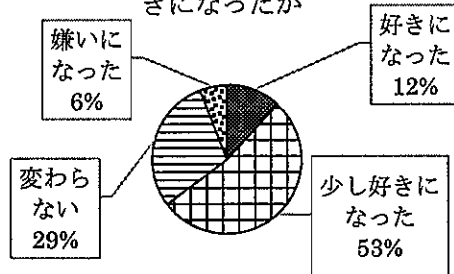
児童・生徒、保護者に対して委託事業者がアンケートを行った結果、本人からは、本事業の利用を通じて、「学校・勉強への意識について肯定的な気持ちが大きくなった」との回答が半数を超えた。また、ほとんどの保護者からは肯定的な意見が寄せられた。

(4) 児童・生徒アンケート結果（有効回答数17人）

事業開始前と比較して学校へ行きたい気持ちは大きくなったか

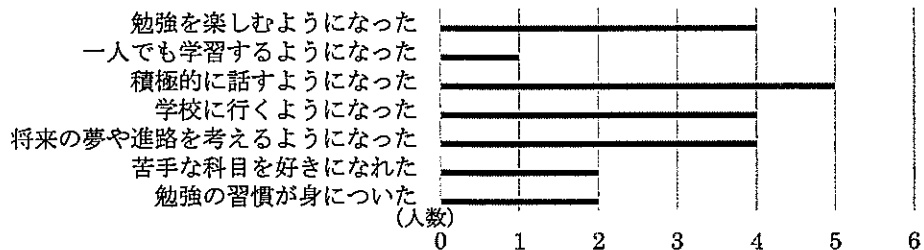


事業開始前と比較して勉強を好きになったか



(5) 保護者アンケート結果（有効回答数17人）

本事業による子どもの変化（複数回答可）



	<p>(6) 今後の方針</p> <p>小学生は学校とのつながりを保つ支援を中心にしつつ、外出が困難でより手厚い支援が必要な児童に対しては、本事業による支援を行う。また、より多くの児童を対象とするため、新規利用の不登校児童を中心に令和4年度候補者を選定し、事業の利用について家庭への働きかけを行う。</p> <p>7 令和4年度ICTを活用した支援</p> <p>(1) 不登校支援におけるICT活用の促進のため、不登校オンライン支援のモデル校を指定し、モデル校で実施しているICTを活用した不登校支援の実践例・好事例を全校へ情報共有 モデル校：西伊興小学校、伊興小学校 東島根中学校、西新井中学校</p> <p>(2) 登校のきっかけづくりとするための不登校支援における授業の録画、アーカイブについて検討</p> <p>(3) 学校と家庭をつなぎ、不登校児童・生徒の対面相談への契機とするため、スクールカウンセラーによるオンライン相談を6月から順次開始</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>家庭への支援が必要なケースについては、他課と積極的に情報共有を行い、関係機関と連携した支援を行うよう学校に働きかける。</p>